

平成26年度予算見積調書

課室名：生産振興課

担当名：主穀担当

内線：4036

(単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
B58	水田農業推進事業			一般会計	農林水産業費	農業費	農業振興費	水田農業経営確立対策費	
事業期間	平成22年度～平成29年度	根拠法令	主要食糧の需給及び価格の安定に関する法律			戦略項目	08	埼玉農業の競争力強化	
						分野施策	030201	収益力ある農業の確立	
1 事業概要			5 事業説明						
<p>食の多様化により米の消費が落ち込む一方で、生産技術の向上や品種改良などにより、米の生産量が増加し、米の価格が下落している。</p> <p>そのため、引き続き需給調整を図らなければ、米価低迷による離農、遊休農地の増加など、地域水田農業が荒廃し、消費者へ安定した米の供給ができなくなる恐れがある。</p> <p>そこで、県、市町村、農業団体等が一体となって効率的な指導推進活動を行うことで、水田を効果的に利用し、米の需要に応じた生産を行うための水田農業の構造改革を図る。</p> <p>(1) 水田農業推進事業 8,267千円</p>			<p>(1) 事業内容</p> <p>水田農業推進事業 8,267千円</p> <p>ア 米の需給調整支援事業 5,767千円</p> <p>県及び市町村が行う米の生産数量目標に関する事務（需要量情報の提供）、水田の有効活用方法の検討と各地域農業再生協議会等への助言・指導等に要する経費を支出する。</p> <p>イ 埼玉県農業再生協議会運営事業 2,500千円</p> <p>埼玉県農業再生協議会へ負担金を支出する。</p> <p>(2) 事業計画</p> <p>ア 米の需給調整支援事業</p> <p>(ア) 県から水田のある61市町村へ、米の生産数量目標を配分（需要量情報の提供）</p> <p>(イ) 市町村から地域農業再生協議会又は農業者（地域農業再生協議会のない市）へ、米の生産数量目標を配分（需要量情報の提供）</p> <p>(ウ) 米の生産数量目標に応じた、市町村域における水田の有効活用方法の検討</p> <p>イ 埼玉県農業再生協議会運営事業</p> <p>(ア) 埼玉県農業再生協議会へ負担金を支出する。</p> <p>(3) 事業効果</p> <p>水田農業の構造改革が図られることで、消費者へ安定した米の供給が図られるとともに、効果的かつ安定的な水田農業が確立される。</p>						
2 事業主体及び負担区分									
事業主体									
県・市町村[(1)] 県[(2)]									
負担区分									
(県10/10)									
3 地方財政措置の状況									
なし									
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員									
9,500千円×1.5人=14,250千円									
			財 源 内 訳					一般財源	前年との対比
予算額		諸収入							
決定額	8,267	55						8,262	853
前年額	9,120	55						9,115	